

おたがいサマサマ わやくちゃチャチャチャ 2025年1月21日放送分

ナレーター：おたがいサマサマ わやくちゃチャチャチャ

♪俺たちの明日／エレファントカシマシ

ナレーター：この番組は、グッドニュース情報発信塾の提供でお送りします。

のぶ：皆さんこんにちは。手話エンターテイメント発信団 oioi の“のぶ”です。

りょーじ：“りょーじ”です。

のぶ：さあ、今月から始まりましたこちらの番組は、毎月月替わりで様々な背景や様々な価値観を持った出演者が自ら企画し、自らゲストまでブッキングして、勝手気ままなおしゃべりと好きな音楽をかけちゃおうというものです。

りょーじ：はい、では改めて今一度自己紹介をさせてください。僕は手話エンターテイメント発信団 oioi のきこえないメンバーの“りょーじ”です。

のぶ：そして、僕が“のぶ”です。

りょーじ：よろしくお願ひします。

のぶ：今日は、なんと3回目ということで、ゲストをお呼びしております。早速自己紹介をしていただきます。どうぞ。

まさやん：こんにちは。京都にございます綿善旅館のおかみ、小野（以下まさやん）と申します。旅館は江戸時代から続いている旅館になりまして、それと同時にですね、私は手話講座、oioi さんの手話講座の受講生でもあります。今日はよろしくお願ひします。

2人：よろしくお願ひします。

のぶ：さあ、今回なんかテーマっていうのが用意されておまして、「まさやんが、僕たち oioi の仲間と接する時に心がけていることはありますか」というお題をいただいております。この点はいかがでしょう？

まさやん：ありがとうございます。いつも、前回の放送でもおっしゃっていたと思うんですけど、口元を見せるように。普段私は恥ずかしがり屋なので、トークの途中にちょっと顔チラチラどっか見たりとかしちゃうんですけど、そうじゃなくて、きちんとお顔を見てお話をするように心がけています。

のぶ：ありがとうございます。

りょーじ：すてき。

のぶ：今ね、ラジオがちょっとわかりにくいと思うんですけども、真っ直ぐに僕たちの方を見ながら、分かりやすく口を開けてしゃべっていただいております。すごい助かりますよね。

りよーじ：助かりますね。

のぶ：そんなまさやんさんは、僕らとなんか、oioiの活動を見て、なんか思うこととかあるんですか？

まさやん：もう小さいお子さんから、手話講座では、もう70代、一番上の方80代の方？

りよーじ：70、80とか。

まさやん：本当に年齢関係なく、性別関係なく、いろんな方が手話を通して仲良くなれるし、あとイベントがすごく楽しくて、息子は一度お邪魔したイベントの時にあったキーワード、「ロックンロール、フー」っていう、以前にあった、そのことをずっと覚えていて、テンションが上がると家で、ずっと手話と一緒に、「ロックンロール、フー」ってやって楽しんでます。

りよーじ：ありがとうございます。

のぶ：やっぱり楽しいって大事ですよ。やっぱ楽しいことをきっかけに手話に興味を持ってもらえるんじゃないかって思って僕たちはこのエンターテイメント活動をやってるんですけども、そういった点で何か感じる部分とかありますか？

まさやん：そうですね。本当に楽しそうで、オンライン手話講座に関して言うと、息子が0歳、生まれた時からずっと横で聞いているんですけども、手話講座が始まるとニコニコしながら画面覗き込んで、最近やっとなんて1歳なんですけど、「手話 手話」って一緒にやってくれるようになって、それはきっと楽しいからなんだと思います。

♪★、🔔、♪ (～♪)

のぶ：おっ。「手話を習ってみてどうですか？普通の手話とは違いますか？」  
(という質問が来ました)

まさやん：どうなんでしょう。“普通の手話”を知らないんですけど。

りよーじ：確かに。

のぶ：確かにおっしゃる通り。僕たちまあ日常生活の中で、手話を使って喋ってるんですけども、ただ、僕たちが開催しているオンライン手話講座は、若干盛ってるって言いますか。

りよーじ：若干？

のぶ：普段の会話でそこまでやらなくてもいいっていうような表現を、あえてやってもらってるっていう部分はありますね。

りよーじ：そうですね。確かに。

まさやん：最初、初めて講座を受けた時は、指文字からやるのかなって。「あいうえお」からひらがなを勉強するときみたいにやるのかと思ったら、一つもやらなくて、本当に日常で使うものばかりだったのですごくよかったなと思ってます。

りょーじ：ありがとうございます。

♪★、🔔、♪・ (～♪)

の ぶ：「面白い手話を1つ2つ教えてください」というリクエストが出てきたんだけども。面白い手話？

りょーじ：面白い手話って言ったらなんだろうなあ。じゃあ1つ「ダイジョーブ」という手話を頑張って説明します。片手の指先を、遠い方の胸…。

の ぶ：右手でいきましょうか。

りょーじ：右手の指先を、左胸につけていただいて、このまま右胸にちょっと円を描く、半円を描きながら、右胸に持っていきます。これで、

2 人：ダイジョーブ！はい。ダイジョーブ！はい。ダイジョーブったらダイジョーブ。

りょーじ：オーケー。ありがとうございます。この手話のポイントは、胸を張って大丈夫だよっていうことをアピールするっていうのがポイントですね。

の ぶ：不思議とね、胸を張っていると、元気になるんだよね。

りょーじ：そうなんですよ。

の ぶ：りょーじ君って結構、人の前では緊張するタイプなんですけども、こういう場では事前にダイジョーブという手話を何回か表してるの？

りょーじ：あ、そうです。僕は、いつもイベントとかね、こういうラジオの収録もそうなんですけど、緊張しやすいので、その前、始まる前に、1分ぐらい「ダイジョーブ。ダイジョーブ。ダイジョーブ」ってほんまに舞台袖とかでずっとやってますね。

の ぶ：その結果今は？

りょーじ：ダイジョーブ。

の ぶ：いいですね。ちなみに、そんなまさやんは手話の勉強を始めてから、どれくらいの単語を覚えられましたか？

まさやん：どうだろうか。たくさん教えていただくんですけど、たくさん忘れてしまうこともあります。

の ぶ：忘れても？

3 人：ダイジョーブ。

まさやん：と言ってくさるので、毎回懲りずに手話講座には参加をさせていただいています。

の ぶ：結構大事なポイントですよ。やっぱ何かの言語を勉強しようと思った時に、「もう覚えられへんからもう無理や」と思って諦めてしまうとか、結構いっぱい居るんですけども、やっぱ僕らはせつかく手話に興味を持ってくれたんだったら、そこでやめてしまうのはすごいもったいないなと思いますんで、もう基本は、忘れても、

3 人：ダイジョーブ。

のぶ：そうそうそう。もうちょっとぐらい忘れてもいいんで、楽しく勉強を続けてもらえたら嬉しいなって、そんなことを思いながら活動をしたいな。

そんなまさやんが、僕たち oioi に何か期待していることとかありますか？

まさやん：ちょっと大きな話になるかもしれないんですけど、【バリアクラッシュ、世界を変えるぞ】っていうようなことを、いつもおっしゃられてると思うので、本当に10年後、20年後の世界を、世の中、子どもたちの価値観とかを、変えてくれはったら嬉しいなって思ってます。

のぶ：それはもうやらないといけない。

りょーじ：そうですね。

アラーム：時間です。時間です。

りょーじ：おお、早い。

のぶ：あつという間にもうお時間になってしまったようですね。ここで3回目の感想とこのを聞いてみたいと思います。まずはまさやん、どうでしたか？

まさやん：はい。本当に一瞬だったんですけど、いつもはオンラインとかイベントでお会いする oioi さんの生の声が、ここで聞けてすごく楽しかったです。

りょーじ：やったー。

のぶ：ありがとうございます。

りょーじ：ありがとうございます。

のぶ：りょーじさんは？

りょーじ：いや、僕は、最後のまさやんさんの、「バリアクラッシュ、大きなことを成し遂げてほしい、価値観を変えてほしい」っていう思いを受けて、もう変えるぞっていう、なんかその気持ちがすごくより強くなりましたね。

のぶ：「応援します」という手話を表してくださってますよ。この応援を受けて、しっかり僕たちはバリアクラッシュを実現できるように頑張って参りたいと思います。

りょーじ：はい。

のぶ：ありがとうございます。

りょーじ：のぶは？

のぶ：僕もそうですね、このバリアクラッシュ自体について、お話がちょっとできなかったというのが、ちょっと残念なんですけども、また時間があれば、このバリアクラッシュについてもいっぱいお話できたらいいなと思っております。  
今週はありがとうございました。

まさやん：ありがとうございました。

りょーじ：ありがとうございました。

の ぶ：さあ、今週はりょーじが選んだこの曲でお別れとなります。

この曲をリクエストした理由は何でしょうか？

りょーじ：はい。理由をお話するとすごく長くなるので手短にお話すると、僕はちょっと昔大きな病気を抱えてまして、oioiの活動を始めて、大きな手術をすることになったんですね。入院期間が2ヶ月ぐらい。2ヶ月の間で大きな手術をするっていう経験をしたんですけど、その時に、僕はちょっとoioiを1回離れないといけなくて、その間、僕がお休みしてる間、oioiの活動を仲間が頑張ってくれてたっていう時期があって、僕は今から流れるこの曲を、ほんまに毎日毎日聴きながら、すっごくあの後押しを受けてたというか、心の支えにしてたんですね。なので、この曲をぜひ皆さんに聴いていただきたいです。

の ぶ：はい。それでは最後にタイトルコールをお願いします。

りょーじ：はい。ケツメイシで「仲間」。

の ぶ：それではこの曲をおかけして、今週は終了となります。来週も同じ時間にお耳にかかりましょう。

3 人：さようなら。

♪仲間／ケツメイシ